



研究紹介

共同研究・外部資金を活用した研究等

東京都からの委託研究のほか、共同研究及び外部資金による受託研究等（受託研究、公募研究）を実施しています。共同研究及び受託研究等の実施にあたっては、共同研究実施要領等の規定に基づき、所の幹部等で構成する「研究等審査会」の審査を経て実施の決定を行っています。

平成20年度に実施した（平成21年度継続を含む。）共同研究は17件、受託研究等は18件です。共同研究の相手方は、国立環境研究所などの公的な研究機関が一番多く、首都大学東京などの大学や一部民間とも共同研究を実施しています。共同研究は、当研究所と共同研究の相手方とがお互いの得意分野について研究分担を行って、一つの研究課題について多角的に研究を実施するもので、より広い視点からの研究が可能になります。

おもな共同研究(平成20年度)

- 自動車の走行方法改善による温暖化対策の推進に関する研究
- ヒートアイランドに伴う気象現象の解析
- 光化学オキシダント対策の効率的な推進に関する研究
- 船舶の陸上電源供給による大気環境改善調査
- 都内水域の大腸菌群数に関する研究
- PCBの迅速測定法に関する研究
- 高濃度土壌汚染の原因解明手法に関する研究
- 廃プラスチック類の効率的な物流システムに関する研究

また、平成19年度からは、外部資金の導入による研究を進めています。委託元は、民間（国等からの再委託を含む。）が一番多く、次いで国関係、自治体関係となっています。

おもな受託研究等(平成20年度)

- 都バスにおけるアイドリングストップの効果調査
- 可搬型X線透視装置による土壌試料の粒度分布計と元素分析
- 鉄道騒音測定調査業務
- 東京国際フォーラム環境改善・環境負荷低減調査
- メタン発酵法による都内事業系一般廃棄物利用活用の調査
- 都市公園空間を使った都市型再生可能エネルギー導入検討調査
- 大丸有地区内の水循環推進のための水資源実態把握調査

次に、その研究の一つをご紹介します。

乾式メタン発酵法活用による都市型バイオマスエネルギーの実用化に関する技術開発

(1)目的

本研究は、環境省からの受託事業で、東京ガス（株）と共同で行っています。研究の目的は、都市内におけるバイオマスエネルギーの利用促進を図ることです。具体的には発熱量が低く焼却に向かない事業系の一般廃棄物（厨芥と紙類の混合ごみ）から、乾式メタン発酵法によりバイオガスを回収し、都市ガスと混合燃焼させ、地域冷暖房等、大規模熱利用施設に安定して熱供給ができるシステムを技術開発することを目指しています。